

神奈川県横浜市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	SDGsデザインセンターによる事業推進【17.17】	2020年 推進	2021年 推進			2030年 推進	-
2	経済活動を支える低炭素・循環型の都市づくり【7.2】	2020年 温室効果ガス▲22.3 %	2021年 ▲28.8 %			2030年 温室効果ガス▲30 %	96%
3	産業拠点強化と戦略的な企業誘致【8.2,8.3】	2020年 戦略的な企業誘致	2021年 戦略的な企業誘致			2030年 産業拠点の強化・戦略的な企業誘致	-
4	市内企業の持続的な成長・発展【9.4】	2020年 I-TOP横浜、L I P、横浜によるプロジェクト推進 等	2021年 I-TOP横浜、L I P、横浜によるプロジェクト推進 等			2030年 市内企業の持続的な成長・発展	-
5	SDGsデザインセンターによる事業推進【17.17】	2020年 推進	2021年 推進			2030年 推進	-
6	女性・シニア・若者の活躍支援【5.5】	2020年 女性の就労、キャリアアップ、起業等の支援	2021年 女性の就労、キャリアアップ、起業等の支援			2030年 誰もがポテンシャルを発揮できる社会の実現	-
7	健康で自立した生活の継続【3.8】	2020年 健康づくり・介護予防の推進	2021年 健康づくり・介護予防の推進			2030年 健康寿命の延伸に向けた取組推進	-
8	コンパクトな郊外部のまちづくりの推進【11.3】	2020年 持続可能な郊外住宅地推進	2021年 持続可能な郊外住宅地推進			2030年 誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部の実現	-
9	SDGsデザインセンターによる事業推進【17.17】	2020年 推進	2021年 推進			2030年 推進	-
10	豊かな自然環境と暮らしが共存する都市づくり【15.1、15.5】	2020年 ガーデンネックレス横浜の展開	2021年 ガーデンネックレス横浜の展開			2030年 国際園芸博覧会開催（2027年度）、花・緑・農・水を活用したガーデンシティ横浜の展開	-
11	持続可能な循環型社会ときれいなまちの実現【12.3、12.5】	2020年 市民・事業者との連携による3R行動の推進	2021年 市民・事業者との連携による3R行動の推進			2030年 ごみと資源の総量▲10 %（2020年度）	-
12	地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデル実現と発信【13.1、13.3】	2020年 大都市モデルを実現する先進的な取組の推進	2021年 大都市モデルを実現する先進的な取組の推進			2030年 花と緑にあふれる環境先進都市の実現	-

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	◆力強い経済成長と文化芸術創造都市、観光・MICE都市の実現に向けた取組	①オープンイノベーションによるプロジェクト等創出件数	2019年 101 件/年	2021年 72 件/年			2023年（4か年） 300 件以上	24%
2	②中小企業の経営革新と経営基盤の強化 ③国際ビジネスの促進とグローバル人材の育成・確保 ④グローバル都市経済の実現 ⑤文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出	②海外諸都市等との連携・協力事業数	2019年 213 件/年	2021年 65 件/年			2023年（4か年） 700 件以上	9%
3	⑥観光・MICEの推進 ⑦スポーツで育む地域と暮らし ⑧大学と連携した地域社会づくり	③観光消費額	2019年 3,762 億円/年	2021年 1,769 億円/年			2023年 3,821 億円/年	46%
4	◆花と緑にあふれる環境先進都市の実現に向けた取組	①18区での地域に根差した花と緑の取組	2019年 18 件	2021年 18 件			2023年（4か年） 72 件以上	25%
5	②花・緑・農・水が街や暮らしとつながるガーデンシティ横浜の推進 ②地球温暖化対策・エネルギー施策の大都市モデルの創出 ③持続可能な資源循環の推進ときれいなまちの推進	②市域の温室効果ガス排出量 ※2010年度電力排出係数を使用して算定	2018年度速報値 1,677 万t-CO2/年	2021年 28.8 %減			2023年（2013年度比） 22 %減	131%
6	④環境にやさしいライフスタイルの実現と定着 ⑤活力ある都市農業の展開	③ごみと資源の総量	2019年 122.1 万t/年	2021年 117.8 万t/年			2023年 117.3 万t以下/年	99.6%
7	◆超高齢社会への挑戦に向けた取組 ①参加と協働による地域福祉保健の推進	①地域ケアプラザ等による地域福祉団体・機関とのネットワーク数	2019年 759 件	2021年 707 件			2023年 800 件以上	88%
8	②健康づくりと健康危機管理などによる市民の安心確保 ③地域包括ケアシステムの構築に向けたサービスの充実・地域づくり・人づくり	②がん検診の精密検査受診率（胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診）	2019年 73.6 %	2021年（各項目の平均値） 63 %			2023年（すべての項目） 85 %以上	74%
9	④地域で最後まで安心して暮らせる在宅医療・介護連携等の推進 ⑤地域医療提供体制の充実と先進的医療の推進	③地域の介護予防活動グループへの参加者数	2019年 41,392 人	2021年 55,823 人			2023年 34,000 人以上	164%
10	◆人が、企業が集い活躍するまちづくりに向けた取組	①都心部の駅の日当たり平均乗降客数	2019年 352 万人/日	2021年 261 万人/日			2023年 361 万人以上/日	72%
11	①魅力と活力あふれる都心部の機能強化 ②市民に身近な交通機能等の充実 ③コンパクトで活力のある郊外部のまちづくり	②最寄駅周辺の整備の満足度	2019年 20.4 %	2021年 21 %			2023年 25 %以上	85%
12	④多様な住居ニーズに対応した住まいづくり	③本市の施策で行う公営住宅等における子育て世帯に配慮された住宅供給戸数	2019年（累計） 7,177 戸	2021年（累計） 7,358 戸			2023年（累計） 8,500 戸以上	87%

神奈川県横浜市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
13	◆未来を創る多様な人づくりに向けた取組 ①全ての子育て家庭及び妊産婦への総合的な支援 ②乳幼児期から学童期までの子ども子育て支援 ③未来を創る子どもを育む教育の推進 ④子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり ⑤女性が働きやすく、活躍できるまち ⑥シニアが活躍するまち ⑦子ども・若者を社会全体で育むまち ⑧児童虐待・DV被害の防止と社会的養護体制の充実 ⑨障害児・者福祉の充実 ⑩暮らしを支えるセーフティネットの確保 ⑪参加と協働による地域自治の支援	①市内事業所の管理職（課長級以上）に占める女性の割合	2019年 17.2 %	2021年 18.7 %			2023年 30 %以上	62%
14	②よこはまシニアボランティアポイントの活動者数		2019年 11,406 人/年	2021年 4,821 人/年			2023年 15,000 人以上/年	32%
15	③若者自立支援機関における自立に向けた改善がみられた人数		2019年 1,198 人/年	2021年 1,516 人/年			2023年 1,780 人以上/年	85%
16	◆防災・減災機能を備えた都市、災害に強い人・地域づくりに向けた取組 ①沿道建築物の倒壊リスクが解消している緊急交通路の区間数		2019年 65 /117区間	2021年 65 /117区間			2023年 72 /117区間以上	90%
17	②災害に強い都市づくり（地震・風水害対策） ②災害に強い人づくり・地域づくり（自助・共助の推進） ③交通ネットワークの充実による都市インフラの強化	②コンテナ船用大水深岸壁の整備率	2019年 70 %	2021年 70 %			2023年 70 %以上	100%
18	④国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり ⑤公共施設の計画的かつ効果的な保全・更新	③30年を経過した下水道管きよ内面のノズルカメラを用いた点検調査	2019年 1,246 km	2021年 1,163 km			2023年 (4か年) 4,000 km以上	29%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

長引くコロナ禍により、令和2年度に引き続き、緊急事態宣言の発令等に伴う外出控えや「3密回避」などにより、観光消費額の落ち込みなど、観光やスポーツに加え、福祉・子育てなど対面を中心とした取組を中心に、市民生活や経済活動に関する指標に大きな影響が見られた。こうした影響の中、感染症対策を講じるとともに、ICTの活用など事業手法を工夫して様々な施策を実施した。引き続きコロナ禍で生じた情勢の変化に対して必要な対策を講じるとともに、市民の安全・安心な暮らしを第一に取組を推進する。

また、事業者等のSDGsを活用した持続可能な経営・運営への転換に向けて、「横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”」を軸に、金融機関とも連携した支援を実施。その取組の一つとして、複数の金融機関に呼びかけ、「Y-SDGs金融タスクフォース」を令和3年7月に設立し、参加金融機関と緊密に連携しながら、事業者に対する金融面・非金融面からの多面的な支援を充実させた。その具体的な成果が高く評価され、令和4年3月に、内閣府が実施する「第1回地方創生SDGs金融表彰」を受賞した。引き続き、本制度を推進するとともに、金融機関とのさらなる連携強化や、認証事業者へのメリットの拡充等を図る。

なお、指標3「②がん検診の精密検査受診率（胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診）」の当初値については、計画策定時点で集計中だったため、本進捗評価にて修正する。